

2023年度

I Tエンジニア科 講義計画集

— 第1学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2023年度 (令和5年度) ITエンジニア科 1年生 年間計画表

2023/3/16 現在

第1クォーター(前期)			第2クォーター(前期)			第3クォーター(後期)			第4クォーター(後期)																		
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月					
1 土		1 月	4月4回	1 木	木8回	1 土		1 火		1 金	夏季資格試験対策	1 日		1 水	水7回	1 金	金11回	1 月	↑	受付業務停止	1 木	後期末試験	1 金	行事等で登校不可			
2 日		2 火	木曜振替4回	2 金	金7回	2 日		2 水	行事等で登校不可	2 土		2 月	月3回	2 木	木8回	2 土		2 火	↓	受付業務停止	2 金	後期末試験	2 土				
3 月		3 水	憲法記念日	3 土		3 月	月13回	3 木		3 日		3 火	火4回	3 金	文化の日	3 日		3 水		3 木			3 日				
4 火		4 木	みどりの日	4 日		4 火	火12回	4 金	行事等で登校不可	4 月	行事等で登校不可	4 水	水4回	4 土		4 月	月11回	4 木		4 金			4 月	春季資格試験対策II			
5 水	オリエンテーション	5 金	こどもの日	5 月	月9回	5 水	水12回	5 土		5 火	夏季資格試験対策	5 木	木4回	5 日		5 火	火12回	5 金	冬休み	5 月	後期末試験	5 火	春季資格試験対策II				
6 木		6 土		6 火	火8回	6 木	木12回	6 日		6 水	夏季資格試験対策	6 金	金4回	6 月	月7回	6 水	水12回	6 土		6 火	春季資格試験対策I	6 木	春季資格試験対策II				
7 金	入学式	7 日		7 水	水8回	7 金	金12回	7 月		7 土	夏季資格試験対策	7 土		7 火	火8回	7 木	木12回	7 日		7 水	春季資格試験対策I	7 木	春季資格試験対策II				
8 土		8 月	月5回	8 木	木9回	8 土		8 火		8 日	行事等で登校不可	8 日		8 水	水8回	8 金	金12回	8 月	成人の日	8 木	春季資格試験対策I	8 金	行事等で登校不可				
9 日		9 火	火4回	9 金	金8回	9 日		9 水		9 土		9 月	スポーツの日	9 木	木9回	9 土		9 火	↓	行事等で登校不可	9 金	春季資格試験対策I	9 土				
10 月	月1回	10 水	水4回	10 土		10 月	月14回	10 木		10 日		10 火	火5回	10 金	金8回	10 日		10 水		10 木	水13回	10 土					
11 火	火1回	11 木	木5回	11 日		11 火	火13回	11 金	夏休み	11 月	月1回	11 水	水5回	11 土		11 月	月12回	11 木	木13回	11 日	建国記念日	11 月	春季資格試験対策III				
12 水	水1回	12 金	金4回	12 月	月10回	12 水	水13回	12 土	み	12 火	火1回	12 木	木5回	12 日		12 火	冬期資格試験対策	12 金	金13回	12 月	祝日振替12	12 火	春季資格試験対策III				
13 木	木1回	13 土		13 火	火9回	13 木	木13回	13 日		13 水	水1回	13 金	金5回	13 月	月8回	13 水	冬期資格試験対策	13 土		13 火	行事等で登校不可	13 水	春季資格試験対策III				
14 金	金1回	14 日		14 水	水9回	14 金	金13回	14 月	受付業務停止	14 木	木1回	14 土		14 火	火9回	14 木	冬期資格試験対策	14 日		14 水	行事等で登校不可	14 木	春季資格試験対策III				
15 土		15 月	月6回	15 木	県民の日	15 土		15 火	受付業務停止	15 金	金1回	15 日		15 水	水9回	15 金	冬期資格試験対策	15 月	月13回	15 木	春季資格試験対策I	15 金	終業式				
16 日		16 火	火5回	16 金	金9	16 日		16 水	受付業務停止	16 土		16 月	月4回	16 木	研修合宿	16 土		16 火	↑	16 水	火13回	16 金	行事等で登校不可	16 土			
17 月	月2回	17 水	水5回	17 土		17 月	海の日	17 木	受付業務停止	17 日		17 火	火6回	17 金	研修合宿	17 日		17 水		17 木	水14回	17 土		17 日			
18 火	火2回	18 木	木6回	18 日		18 火	火14回	18 金	受付業務停止	18 月	敬老の日	18 水	水6回	18 土		18 月		18 木	木14回	18 日		18 月		18 日			
19 水	水2回	19 金	金5回	19 月	月11回	19 水	水14回	19 土		19 火	火2回	19 木	木6回	19 日		19 火		19 金	金14回	19 月	春季資格試験対策I	19 火		19 日			
20 木	木2回	20 土		20 火	火10回	20 木	木14回	20 日		20 水	水2回	20 金	金6回	20 月	月9回	20 水		20 土		20 火	火14回	20 木	春分の日	20 日			
21 金	金2回	21 日		21 水	水10回	21 金	金14回	21 月	行事等で登校不可	21 木	木2回	21 土	若幸祭準備	21 火	火10回	21 木		21 日		21 水	春季資格試験対策I	21 木		21 日			
22 土		22 月	月7回	22 木	木10回	22 土		22 火	夏季資格試験対策	22 金	金2回	22 日	若幸祭	22 水	水10回	22 金		22 月	月14回	22 木	春季資格試験対策I	22 金		22 日			
23 日		23 火	火6回	23 金	金10回	23 日		23 水	夏季資格試験対策	23 土	秋分の日	23 月	振替休日	23 木	勤労感謝の日	23 土	冬休み	23 火	火14回	23 金	天皇誕生日	23 土	春休み	23 日			
24 月	月3回	24 水	水6回	24 土		24 月	月15回	24 木	夏季資格試験対策	24 日		24 火	振替休日	24 金	金10回	24 日		24 水		24 木	水15回	24 土		24 日			
25 火	火3回	25 木	木7回	25 日		25 火	前期末試験	25 金	行事等で登校不可	25 月	月2回	25 水	月曜振替5回	25 土		25 月	受付業務停止	25 木	木15回	25 日		25 月		25 日			
26 水	水3回	26 金	金6回	26 月	月12回	26 水	前期末試験	26 土		26 火	火3回	26 木	木7回	26 日		26 火	受付業務停止	26 金	金15回	26 月	春季資格試験対策II	26 火		26 日			
27 木	木3回	27 土		27 火	火11回	27 木	前期末試験	27 日		27 水	水3回	27 金	金7回	27 月	月10回	27 水	受付業務停止	27 土		27 火	春季資格試験対策II	27 水	行事等で登校不可	27 日			
28 金	金3回	28 日		28 水	水11回	28 金	前期末試験	28 月	夏季資格試験対策	28 木	木3回	28 土		28 火	火11回	28 木	受付業務停止	28 日		28 水	春季資格試験対策II	28 木		28 日			
29 土	昭和の日	29 月	月8回	29 木	木11回	29 土		29 火	夏季資格試験対策	29 金	金3回	29 日		29 水	水11回	29 金	受付業務停止	29 月	月15回	29 木	春季資格試験対策II	29 金		29 日			
30 日		30 火	火7回	30 金	金11回	30 日	夏休み	30 水	夏季資格試験対策	30 土		30 月	月6回	30 木	木11回	30 土		30 火	火15回				30 日		30 土		
		31 水	水7回			31 月	追試	31 木	夏季資格試験対策			31 火	火7回			31 日		31 水	水16回					31 日		31 土	
個人面談期間		各種資格試験の受験日は別途告知(主に、土日祝に受験)				体育祭:日程決定後、告知																					

1学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
教育目標と検定スケジュール	6
アルゴリズムとデータ構造 I・II	秋山 純一	7
Java言語演習 I・II	秋山 純一	9
ネットワークとセキュリティ	榎本 陽二郎	11
情報セキュリティ	前半：榎本、後半：加藤	12
ハードウェアとソフトウェア	所 兼太郎	13
データベース	1組：平山 椋都、2組：所 兼太郎	14
システム設計	加藤 尚喜	15
ストラテジとマネジメント	1組：松脇 和樹 2組：平山 椋都	16
Office演習 I・II	森廣 永江	17
ネットワーク技術	所 兼太郎	19
ビジネス実務	高橋 豊	20
検定対策 I・II	1組：秋山 純一、2組：所 兼太郎	21
夏季資格試験対策	1組：秋山 純一、2組：所 兼太郎	23
冬季資格試験対策	1組：秋山 純一、2組：所 兼太郎	24
国家試験対策	1組：秋山 純一、2組：所 兼太郎	25
やってみなはれ演習 I・II	1組：秋山 純一、2組：所 兼太郎	26

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいますからです。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にS～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

S	90以上
A	80～89
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り科目の評価(S～Dの5段階)に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。

なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。

$GPA = \frac{【GP \times 履修科目の単位数】の合計}{履修科目の総単位数}$

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」
※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する

- (1) 履修した全ての科目において単位修得していること
- (2) 原則として各年度において年間55日以上欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。(スマートフォンでも使用可能)各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃(清掃時間を入り口に掲示)が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム(その他ソフト)をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。(卒業研究等、必要な場合を除く)

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

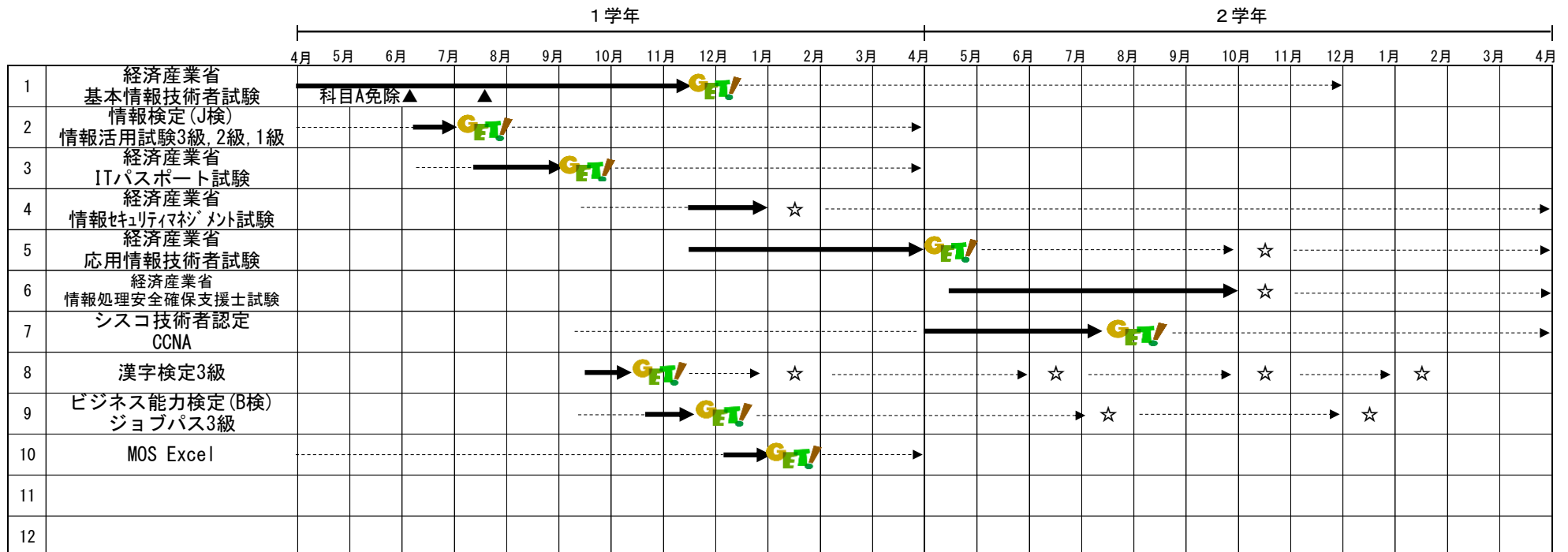
校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理技術者試験（国家資格）、シスコ技術者認定試験の合格 ・情報処理技術者の基礎となる幅広い知識の習得 （アルゴリズム・プログラミング、情報セキュリティ、データベース、コンピュータシステム、ネットワーク、システム設計、マネジメント、ストラテジ） ・ITシステムの構築に必要な、論理的思考能力の向上
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験、基本情報技術者試験 ・CCNA ・応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士
1年次進級条件（資格）	<ul style="list-style-type: none"> ・J検情報活用2級もしくはITパスポート試験以上の国家試験 ・MOS Excel
2年次進級条件（資格）	<ul style="list-style-type: none"> ①CCNAもしくは基本情報以上の国家資格 ②ITパスポート試験以上の国家資格を新規取得 ③二つ以上の資格（種類不問・上位級合格可）を新規取得 <p style="text-align: right;">※①～③のいずれかの条件を満たすこと</p>
卒業条件（資格）	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定3級 ・ビジネス能力検定（B検） ジョブパス3級

<方針>

- ①企業に役立つ高度な人材及び良き社会人としての成長を目指す
 - ②プログラミング、設計技法に加え、ネットワーク、セキュリティの知識を習得し、多様な資格取得にチャレンジする
 - ③オブジェクト指向の基礎に留まらず、Webアプリ/携帯アプリ開発技術を習得する
- 1年次：資格取得（座学中心）
- ・基本情報技術者試験の合格を第一目標に、IT基礎知識を修得する
 - ・アルゴリズムの授業に力を入れ、プログラミング力を高める
 - ・2年次の応用情報技術者試験の受験に向けて学習を開始する
- 2年次：演習＋資格取得
- ・CCNAの取得を目指す
 - ・応用情報技術者試験・情報処理安全確保支援士の合格を目指す
 - ・グループで携帯アプリ開発に取り組み、システムエンジニアやプログラマの仕事への意識を高め、就職活動に備える
- 3年次：企業人1年生
- ・自ら調べ考える習慣、問題発見解決能力を身につける
 - ・知識に加え、人と共に働く力や自ら考え行動する力の向上を図る
 - ・プレゼンテーション能力、目的に応じたドキュメント作成の基礎を習得する

9



ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	アルゴリズムとデータ構造 I	分類	専門、必修科目
担当	秋山 純一		
テキスト (出版社)	プリント教材 イラストでわかる！入門のための基本情報技術者[科目B]アルゴリズム対策トレーニング問題集		
参考資料	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	5
	40%	0%	10%	10%	10%	30%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験科目Bを見据えた学習を行う。途中、基本情報技術者午前修了認定試験・ITパスポート対策を挟む。知識と理論を習得するため、講義と問題演習のハイブリッド学習を行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験科目Bを突破できる土台の修得。基本情報技術者午前修了認定試験・ITパスポート試験の合格。Javaプログラミングの基礎となる要素の修得。アルゴリズムのトレースを修得し、論理的思考を楽しめるようになる。
3. 注意点・要望
アルゴリズムの修得は積み上げ式であり、個人差があるため、序盤は基礎的な学習を重点的に行う。最先端のアルゴリズムも基礎的な構造の組み合わせである。簡単な問題でも気を抜かず、高い意識を持って取り組むこと。
4. 関連科目
Java言語演習 I・II、アルゴリズムとデータ構造 II

週	テーマ	内容
1	アルゴリズム入門	アルゴリズムとは、フローチャートとは、出力のフローチャート
2	変数	変数とは、変数の宣言と代入、変数の四則演算、変数の使い回し
3	条件式	条件式とは、比較演算、論理演算、各種演算の組み合わせ
4	選択処理	単岐選択処理、双岐選択処理、入れ子の選択処理、複数条件の選択処理
5	ループ処理	while型ループ、for型ループ
6	データ構造の概要	リスト、スタック、キュー、木構造
7	代表的なアルゴリズムの概要	代表的なソートアルゴリズムの概要、代表的な探索アルゴリズムの概要
8	疑似言語	疑似言語とは、疑似言語の順次処理・選択処理・ループ処理
9	ループ処理(疑似言語)	for型・while型ループ中の選択処理、break文、無限ループ、while型・for型ループ同士の組合せ
10	配列	配列とは、配列の四則演算、変数を使用する添え字、ループ中の配列の使用
11	2重ループ	for型2重ループ、while型2重ループ、2重ループ中のbreak文、while型・for型ループを組合せた2重ループ
12	2次元配列	2次元配列の添え字・代入・出力・四則演算、2重ループ中の2次元配列
13	関数	関数とは、引数と戻り値、ループ中の関数、関数による階層、再帰関数、大域変数
14	問題演習	基本情報技術者午後試験を意識した構成の問題演習
15	前期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	アルゴリズムとデータ構造 II	分類	専門、必修科目
担当	秋山 純一		
テキスト (出版社)	プリント教材 イラストでわかる！入門のための基本情報技術者[科目B]アルゴリズム対策トレーニング問題集		
参考資料	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	0%	10%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験合格に向け、問題演習を通じた解答テクニック・解答パターンを修得する。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験に合格する。 アルゴリズムのトレースを修得し、論理的思考を楽しめるようになる。アルゴリズムの効率化を意識できるようになる。
3. 注意点・要望
パターンの暗記や概要を理解するだけに留まらず、自分の力で問題文を読解し、トレースをすること。 アルゴリズムの修得には個人差はあるが、時間を掛けて最後まで取り組むことで修得可能である。
4. 関連科目
Java言語演習 I・II、アルゴリズムとデータ構造 I

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験対策(1)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(1)
2	基本情報技術者試験対策(2)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(2)
3	基本情報技術者試験対策(3)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(3)
4	基本情報技術者試験対策(4)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(4)
5	基本情報技術者試験対策(5)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(5)
6	基本情報技術者試験対策(6)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(6)
7	基本情報技術者試験対策(7)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(7)
8	基本情報技術者試験対策(8)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(8)
9	基本情報技術者試験対策(9)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(9)
10	基本情報技術者試験対策(10)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(10)
11	基本情報技術者試験対策(11)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(11)
12	基本情報技術者試験対策(12)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(12)
13	基本情報技術者試験対策(13)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(13)
14	基本情報技術者試験対策(14)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(14)
15	基本情報技術者試験対策(15)	基本情報技術者試験科目B「データ構造及びアルゴリズム」の過去問題を演習する問題の読み方、解答テクニックを解説する(15)
16	後期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	Java言語演習 I	分類	専門、必修科目
担当	秋山 純一		
テキスト (出版社)	スッキリわかるJava入門 第3版(インプレス)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	30%	0%	40%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
実際に手を動かすことにより、コンピュータの基礎的な操作方法を覚えながらJavaプログラミングの演習を行う。 既に理解したアルゴリズムの内容について、Javaではどういった書き方になるのかを学ぶ。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験科目Bを突破できる土台の修得。 開発環境の基礎的な操作の修得。Javaプログラミングの基礎と、他の言語でも通用する論理的思考力の修得。
3. 注意点・要望
積み上げ式の学習であるため、基礎を疎かにせず、一つひとつの技術を確実に修得すること。 授業に付いて行ける様にタッチタイピングを身に付け、自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を修得すること。
4. 関連科目
Java言語演習Ⅱ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	Java言語の概要と開発環境構築	Java言語の概要の理解、統合開発環境(IDE)の使い方
2	プログラムの基本的な書き方	プログラムの全体構成、ブロックとインデント、コメント文、2種類のコンソール出力(printlnメソッドとprintメソッド)
3	変数とデータ型	データ型の種類と役割、変数、変数の宣言
4	キーボード入力	キーボードから入力した値を扱う
5	式と演算子	四則演算やインクリメント、演算子の優先順位
6	選択処理(1)	if文、if-else文を使った選択処理
7	選択処理(2)	if-elseif-else文を使った選択処理
8	ループ処理(1)	while型ループ、for型ループ
9	ループ処理(2)	for型・while型ループ中の選択処理、break文、無限ループ、while型・for型ループ同士の組合せ
10	配列	配列とは、配列の四則演算、変数を使用する添え字、ループ中の配列の使用
11	2重ループ	for型2重ループ、while型2重ループ、2重ループ中のbreak文、while型・for型ループを組合せた2重ループ
12	2次元配列	2次元配列の要素番号・代入・出力・四則演算、2重ループ中の2次元配列
13	メソッド(1)	メソッドの構造と作成方法、引数・戻り値の理解、呼び出し方法(1)
14	メソッド(2)	メソッドの構造と作成方法、引数・戻り値の理解、呼び出し方法(2)
15	前期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	Java言語演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	秋山 純一		
テキスト (出版社)	スッキリわかるJava入門 第3版(インプレス)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	20%	0%	30%	0%	20%	30%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを根本から理解する。 Java言語の重要概念である「オブジェクト指向」を利用した、基礎的なプログラミング演習を行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験に合格する。 Javaプログラミングを通じて、オブジェクト指向の基礎を身に着ける。
3. 注意点・要望
積み上げ式の学習であるため、基礎を疎かにせず、一つひとつの技術を確実に修得すること。 授業に付いて行ける様にタッチタイピングを身に着け、自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を修得すること。
4. 関連科目
Java言語演習Ⅰ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	前期復習	演習問題により前期の内容を復習
2	アルゴリズムプログラミング(1)	基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを理解する(1)
3	アルゴリズムプログラミング(2)	基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを理解する(2)
4	アルゴリズムプログラミング(3)	基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを理解する(3)
5	アルゴリズムプログラミング(4)	基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを理解する(4)
6	アルゴリズムプログラミング(5)	基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを理解する(5)
7	アルゴリズムプログラミング(6)	基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを理解する(6)
8	アルゴリズムプログラミング(7)	基本情報技術者試験科目Bの擬似言語を使用してJavaプログラミングを行い、アルゴリズムを理解する(7)
9	オブジェクト指向(1)	オブジェクト指向とは、クラスの実装
10	オブジェクト指向(2)	データを処理するメソッド、フィールドおよびメソッド
11	オブジェクト指向(3)	オブジェクト指向の課題作成
12	コンストラクタ	コンストラクタとは、コンストラクタの役割
13	カプセル化(1)	カプセル化とは、アクセス修飾子とメソッド
14	カプセル化(2)	カプセル化の課題作成
15	総合課題作成	課題の作成を行う
16	後期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ネットワークとセキュリティ	分類	専門、必修科目
担当	榎本 陽二郎		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版) イラスト図解満載 情報セキュリティの基礎知識(技術評論社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	40%	0%	0%	30%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
ネットワークとセキュリティに関する基礎知識の学習
2. 授業の目標(検定取得など)
以下の試験の合格を目指す。 基本情報技術者試験の科目A免除試験/ITパスポート試験/基本情報技術者試験科目B試験
3. 注意点・要望
小テスト・定期考査を実施する予定なので、復習をしっかりと行うこと 内容が非常に多いため、毎日最低1時間は復習を行い、知識の定着を図ること
4. 関連科目
検定対策 I・II、国家試験対策、情報セキュリティ

週	テーマ	内容
1	ネットワークとセキュリティの概要、ネットワークの仕組み	授業の方針、ネットワークの基礎知識、LANの接続機器と接続形態、ケーブルの種類、データ通信、OSI基本参照モデル
2	TCP/IP、IPアドレス(前半)	各階層のプロトコルと働き、ネットワークアドレスの計算、サブネットの仕組み、IPアドレス枯渇化対策
3	IPアドレス(後半) ネットワークの性能	サブネットの仕組み、IPアドレス枯渇化対策、データ伝送と回線利用率、回線利用率と伝送速度の計算
4	情報セキュリティ管理、暗号化技術、認証技術(1)	目的と脅威、コンピュータウイルス、リスクマネジメント、暗号方式、共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、インターネット上での暗号化技術
5	情報セキュリティ管理、暗号化技術、認証技術(2)	目的と脅威、コンピュータウイルス、リスクマネジメント、暗号方式、共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、インターネット上での暗号化技術
6	ネットワークセキュリティ	ファイアウォール、ネットワークの脆弱性と対策、電子メールの脆弱性と対策、アプリケーションの脆弱性と対策
7	基本情報技術者試験科目A免除対策(1)	過去問題を使用した問題対策(1)
8	基本情報技術者試験科目A免除対策(2)	過去問題を使用した問題対策(2)
9	J検・ITパスポート試験対策(1)	過去問題を使用した試験問題対策(1)
10	J検・ITパスポート試験対策(2)	過去問題を使用した試験問題対策(2)
11	ITパスポート試験対策(1)	過去問題を使用した試験問題対策(3)
12	ITパスポート試験対策(2)	過去問題を使用した試験問題対策(4)
13	基本情報科目B試験対策 情報セキュリティ(1)	予想問題を使用した試験問題対策(1)
14	基本情報科目B試験対策 情報セキュリティ(2)	予想問題を使用した試験問題対策(2)
15	前期試験期間	効果測定

備考	ネットワークエンジニアを経験した教員が実際の職務経験を交え、ネットワークについて教えます。
----	---

科目	情報セキュリティ	分類	専門、必修科目
担当	榎本 陽二郎(前半)／加藤 尚喜(後半)		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版) イラスト図解満載 情報セキュリティの基礎知識(技術評論社)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	3
	0%	0%	30%	30%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

業務上だけでなく、日常生活においても必要な情報セキュリティの基礎について学ぶ

2. 授業の目標(検定取得など)

社会人として必要な情報倫理を身につけ、情報セキュリティに対する意識を向上させる
情報セキュリティにおける脅威を理解し、脅威に対する対応策に関する知識を身につける

3. 注意点・要望

各授業の最後に確認テストを実施するので、不明なところは、質問などを行い、理解を深めておくこと
原則として、講義を中心に授業を進めるが、適宜グループワークや必要な実習も行うので、意欲的に取り組むこと

4. 関連科目

ネットワークとセキュリティ

週	テーマ	内容
1	基本情報 科目B試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(1)
2	基本情報 科目B試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(2)
3	基本情報 科目B試験対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(3)
4	基本情報 科目B試験対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(4)
5	基本情報 科目B試験対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(5)
6	基本情報 科目B試験対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(6)
7	基本情報 科目B試験対策(7)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(7)
8	基本情報 科目B試験対策(8)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(8)
9	情報セキュリティとは	情報セキュリティ／マルウェア／マルウェア・不正アクセス対策
10	Webサイト利用者への攻撃	パスワードの不正利用・不正入手／Webサイト利用者への攻撃 など
11	サービスの妨害／脅威	サービスの妨害・悪用／人的脅威・物理的脅威・その他の脅威 など
12	暗号化技術／認証技術	暗号化技術／認証技術(デジタル署名を含む) など
13	ネットワークセキュリティ	ネットワークセキュリティ／情報漏洩対策 など
14	情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティマネジメント／ISMS／リスクマネジメント など
15	インシデント管理・関連法規	情報セキュリティインシデント管理／情報セキュリティ関連法規 など
16	後期試験期間	-

備考

情報セキュリティ担当者として勤務経験のある教員が、実務経験を活かして講義を行う。

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ハードウェアとソフトウェア	分類	専門、必修科目
担当	所 兼太郎		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 令和5-6年度版 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	30%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ハードウェアとソフトウェア」の知識を身に付ける

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の科目A免除試験の合格を目指す ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

小テスト・定期考査を実施する予定なので、復習をしっかりと行うこと
講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること

4. 関連科目

検定対策 I

週	テーマ	内容
1	基礎理論(1)	基数(2進数・10進数・8進数・16進数)、基数変換 文字の表現、数値の表現(正負の表現)
2	基礎理論(2)	小数の表現と誤差、シフト演算 論理演算、オートマトンと状態遷移図、AI(人工知能)
3	プロセッサ(1) オペレーティングシステム(1)	コンピュータの種類と構成、CPUの構成と動作、アドレス指定方式 ソフトウェアの分類、OSの目的と構成・種類、OSの機能、ジョブ管理
4	プロセッサ(2) オペレーティングシステム(2)	割込みとCPUの性能、CPUのアーキテクチャと高速化技術、マルチプロセッサシステム、タスク管理、記憶管理
5	記憶装置(1) オペレーティングシステム(3)	メモリの種類と特徴、記憶階層、メモリの高速化技術と実効アクセス時間 ユーザ管理、ネットワーク管理、言語プロセッサ
6	記憶装置(2) バス ミドルウェア・開発支援ツール	補助記憶装置の種類 バスの種類と特徴、バスのアーキテクチャ ミドルウェアの種類、ライブラリ、テストツール・デバッグツール
7	入出力インタフェース 入出力装置 ファイル管理 OSS	インタフェースの種類、デバイスドライバ 入力装置の種類、出力装置の種類 ファイルシステムの特徴、ディレクトリ管理、ファイル共有とバックアップ OSSの種類と特徴
8	システム構成 マルチメディア	システムの処理形態と構成、クライアントサーバシステム、システムの信頼性と評価 マルチメディアの技術 マルチメディアの応用技術
9	ITパスポート試験対策(1)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習(1)
10	ITパスポート試験対策(2)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習(2)
11	ITパスポート試験対策(3)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習(3)
12	ITパスポート試験対策(4)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習(4)
13	ITパスポート試験対策(5)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習(5)
14	ITパスポート試験対策(6)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習(6)
15	前期試験期間	-

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	データベース	分類	専門、必修科目
担当	1組:平山 椋都、2組:所 兼太郎		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	30%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
データベースに関する基礎知識の学習 基礎知識の応用方法を学習
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
各授業の章末にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと
4. 関連科目
検定対策 I

週	テーマ	内容
1	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計(概念・論理・物理)手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義(DDL)
2	排他制御と障害回復処理、 データベースの種類	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理、 集中・分散データベース、データベースの応用、コミット
3	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	基本演算の種類、SQL、テーブル定義、テーブル検索、 副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
4	ビュー定義、その他のSQL、 正規化対策	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新、正規化、第1正規化、第2正規化、第3正規化
5	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(1)	過去問題を使用した問題対策(1)
6	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(2)	過去問題を使用した問題対策(2)
7	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(3)	過去問題を使用した問題対策(3)
8	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(4)	過去問題を使用した問題対策(4)
9	SQL対策(1)	テーブル定義、テーブル検索
10	SQL対策(2)	副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
11	SQL対策(3)	総合演習
12	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策(1)
13	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策(2)
14	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策(3)
15	前期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	システム設計	分類	専門、必修科目
担当	加藤 尚喜		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要
システム設計に関する基礎知識の学習 基礎知識の応用方法を学習
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目A試験免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する 基本情報技術者試験の科目B試験に合格する
3. 注意点・要望
各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと
4. 関連科目
検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	システム開発の基本、基本計画	開発手順・モデル、基本計画で行うこと、見積り、規模と工数の関係
2	外部設計(システム方式設計)	外部設計とは、E-R図、DFD、ヒューマンインタフェース設計、ユニバーサルデザイン、コード設計
3	内部設計(ソフトウェア方式設計)	内部設計とは、入力チェック方式、チェックディジット、レビュー手法
4	プログラム設計、 プログラミング	プログラム設計とは、モジュール分割・独立性、 プログラミングとは、構造化プログラミング、値渡しと参照渡し、デバッグ手法
5	テスト、移行・運用保守、 オブジェクト指向設計	テスト手順、テスト種類(単体、結合、システム、運用、退行、移行)、移行作業、 システム保守、障害対応手順、障害監視、特長、クラス図、シーケンス図
6	基本情報技術者試験科目A試験 免除対策(1)	過去問題を使用した問題対策(1)
7	基本情報技術者試験科目A試験 免除対策(2)	過去問題を使用した問題対策(2)
8	基本情報技術者試験科目A試験 免除対策(3)	過去問題を使用した問題対策(3)
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策(1)
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策(2)
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策(3)
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策(4)
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策(5)
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策(6)
15	前期試験期間	-

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ストラテジとマネジメント	分類	専門、必修科目
担当	1組:松脇 和樹 2組:平山 椋都		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	0%	20%	10%	40%	100%		

1. 授業の概要
ストラテジとマネジメントに関する基礎知識の学習 基礎知識の応用方法を学習
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
期末試験を実施するので復習を行うこと 講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分の者として押さえること
4. 関連科目
検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	プロジェクトマネジメント概要、 日程管理、コスト管理	プロジェクトマネジメントの目的、PMBOK、スコープ管理、 アローダイアグラム、進捗管理、見積り技法
2	リスク管理、サービスマネジメント、 システム監査	リスク、リスクの識別、リスク対応計画、ITIL、SLA、 システム監査の目的、システム監査人、システム監査の流れ、内部統制
3	経営戦略、情報システム戦略、 業務改善、システム化企画	経営戦略、企業提携、情報システム戦略の目的・立案、システム管理基準、 BPR、ソリューションサービス、ビジネスシステム、エンジニアリングシステム
4	企業の組織、財務会計、棚卸評価、 財務分析、損益分岐点分析	企業活動、経営組織、財務諸表、棚卸評価、 財務分析、費用、利益、損益分岐点分析
5	オペレーションズ・リサーチ、 知的財産権、労働と契約の法制度	オペレーションズ・リサーチ、線形計画法、在庫管理、QC七つ道具、 インダストリアルエンジニアリング、知的財産権の種類、労働者派遣法
6	基本情報技術者試験科目A免除対策 (1)	過去問題を使用した問題対策(1)
7	基本情報技術者試験科目A免除対策 (2)	過去問題を使用した問題対策(2)
8	基本情報技術者試験科目A免除対策 (3)	過去問題を使用した問題対策(3)
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策(1)
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策(2)
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策(3)
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策(4)
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策(5)
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策(6)
15	前期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	Office演習 I	分類	専門、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト& 問題集 (FOM出版)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	30%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す
2. 授業の目標(検定取得など)
マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel2019
3. 注意点・要望
・単に操作を覚えるのではなく、必要な場面で使える様に知識の定着を図ること ・毎回テキストを忘れないようにすること
4. 関連科目
-

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	MOS試験について、成績評価について、環境の確認、EXCELの基本
2	Excel2019 演習(1)	セルやセル範囲のデータの管理(1)
3	Excel2019 演習(2)	セルやセル範囲のデータの管理(2)
4	Excel2019 演習(3)	セルやセル範囲のデータの管理(3)
5	Excel2019 演習(4)	出題範囲2 確認問題
6	Excel2019 演習(5)	ワークシートやブックの管理(1)
7	Excel2019 演習(6)	ワークシートやブックの管理(2)
8	Excel2019 演習(7)	出題範囲1 確認問題
9	Excel2019 演習(8)	テーブルとテーブルのデータの管理(1)
10	Excel2019 演習(9)	テーブルとテーブルのデータの管理(2)
11	Excel2019 演習(10)	出題範囲3 確認問題
12	Excel2019 演習(11)	数式や関数を使用した演算の実行(1)
13	Excel2019 演習(12)	数式や関数を使用した演算の実行(2)
14	Excel2019 演習(13)	数式や関数を使用した演算の実行(3)
15	Excel2019 演習(14)	出題範囲4 確認問題

備考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。
----	---

科目	Office演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト& 問題集 (FOM出版)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	0%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す

2. 授業の目標(検定取得など)

マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel2019

3. 注意点・要望

- ・繰り返し問題演習を行うこと
- ・毎回テキストを忘れないようにすること

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	Excel2019 演習(15)	グラフの管理(1)
2	Excel2019 演習(16)	グラフの管理(2)
3	Excel2019 演習(17)	グラフの管理(3)
4	Excel2019 演習(18)	出題範囲5 確認問題
5	Excel2019 演習(19)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(1)
6	Excel2019 演習(20)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(2)
7	Excel2019 演習(21)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(3)
8	Excel2019 演習(22)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(4)
9	Excel2019 演習(23)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(5)
10	Excel2019 演習(24)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(6)
11	Excel2019 演習(25)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(7)
12	Excel2019 演習(26)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(8)
13	Excel2019 演習(27)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策(9)
14	PowerPoint2019 演習(1)	基本操作の練習(1)
15	PowerPoint2019 演習(2)	基本操作の練習(2)
16	PowerPoint2019 演習(3)	プレゼン資料の作成

備考

システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	ネットワーク技術	分類	専門、必修科目
担当	所 兼太郎		
テキスト (出版社)	Cisco Certified Network Associate Routing and Switching(船橋情報ビジネス専門学校)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	40%	0%	30%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
シスコ・ネットワーキングアカデミーのカリキュラムをベースに、ネットワーク技術者(もしくはネットワークインフラに詳しいシステムエンジニア)として必要とされる知識と技能を修得する。
2. 授業の目標(検定取得など)
シスコ技術者認定試験(CCNA)の合格、ネットワークエンジニアに求められる高度な技術知識の習得。
3. 注意点・要望
CCNA試験は、国家試験と異なり合格に必要な点数が高く深い理解が求められます。知識を曖昧なままにしないよう復習を行って下さい。
4. 関連科目
-

週	テーマ	内容
1	ネットワークの基礎用語と2進数	ネットワークとは(トラフィック、スループット、帯域幅など基礎用語の確認) 2進数の演算(0~255までの10進数と2進数を相互変換できるようにする)
2	OSI参照モデル	OSI参照モデルの概要とカプセル化の流れ、ネットワークトポロジとネットワーク機器
3	レイヤ1(1)	メディア、メディアの種類、光ファイバケーブルの分類、UTP接続、具体的なケーブルの企画、プレナムケーブル
4	レイヤ1(2)	コリジョンとコリジョンドメイン、コリジョンドメインのセグメント化
5	レイヤ2	MACアドレス、16進数
6	レイヤ2テクノロジー(1)	宛先アドレスの指定方法、メディアアクセス制御、LAN規格、CSMA/CD方式、イーサネットフレーム形式、レイヤ2の機器
7	レイヤ2テクノロジー(2)	イーサネットLANのセグメント化、LANを分割する理由・分割する機器、LANセグメンテーション、全二重通信と半二重通信
8	レイヤ3(1)	MACアドレスとIPアドレスの違い、ネットワーク層のフィールド、2進数おさらい、IPアドレスのフォーマット
9	レイヤ3(2)	ネットワークアドレスとホストアドレス、IPアドレスのクラス分け、予約されているアドレス、ネットワークアドレスとブロードキャストアドレスの役割
10	レイヤ3(3)	サブネット化、サブネットマスク
11	レイヤ3(4)	ホストとサブネットのバランス、プライベートアドレス、サブネットマスクの別表記
12	レイヤ3(5)	小テスト
13	レイヤ3(6)	ルータについておさらい、IPアドレスの割り当て方法、IPの主要コンポーネント
14	レイヤ3(7)	デフォルトゲートウェイ、ルーテッドプロトコル、ルーティングテーブル
15	レイヤ3(8)	ルーティングテーブルの作り方、ルーティングプロトコル、RIPの機能、OSPF、EIGRP
16	後期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	ビジネス実務	分類	教養、必修科目
担当	高橋 豊		
テキスト (出版社)	2023年版 ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	70%	0%	0%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
社会人にとって必要な仕事・人間関係・マナーなどのビジネス能力の基礎を学び、実務に即した技術知識を身につける。
2. 授業の目標(検定取得など)
ビジネス能力検定ジョブパス3級
3. 注意点・要望
プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること。
4. 関連科目
-

週	テーマ	内容
1	導入・概要 仕事と社会人としての意識	ビジネス実務と授業の概要を把握する。 仕事への取り組み方を学び、社会人を意識する。
2	ビジネスマナー	お辞儀、挨拶、身だしなみなどのビジネスマナーについて学び、実践できるようにする。
3	仕事の基本	仕事の基本姿勢である8つの意識を考察し、仕事の理解を深める。
4	仕事への取り組み	業務の流れを知り、効率的な仕事の進め方を理解する。
5	指示・報告・連絡・相談	指示の受け方と報告や連絡、相談のポイントとそのやり方を学ぶ。
6	話し方と聞き方、敬語	ビジネスにふさわしい話し方、言葉遣いを敬語の使い方と共に学ぶ。
7	情報収集とメディア	新聞やインターネットなど、さまざまなメディアから情報収集力を養う。
8	統計データの読み方	データの読み方とまとめ方を学び、その分析力を養う。
9	ビジネス文書(社外文書)	ビジネス文書の役割を把握したうえで、社外文書の書き方を学ぶ。
10	ビジネス文書(社内文書 メール)	分かりやすい文書の書き方を学び、社内文書とメールの書き方を学ぶ。
11	ビジネス用語	基本的なビジネス用語を理解して、社会人としてのスキルアップを図る。
12	業務とスケジュール管理	業務とマニュアルの効果について理解し、スケジュール管理や情報の整理法を学ぶ。
13	ビジネスケース(1)	仕事の取り組みに関するケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決を学び、ビジネス全般を把握する。
14	ビジネスケース(2)	営業、接客、訪問などに関するケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決を学び、ビジネス全般を把握する。
15	就職対応(1)	就職活動における基本的な所作を学び、面接の仕方や話し方を学ぶ。
16	就職対応(2)	自身のアピールポイントの出し方を学び、面接時の対応力をつける。

備考	-
----	---

科目	検定対策 I	分類	専門、必修科目
担当	1組:秋山 純一、2組:所 兼太郎、平山 棕都		
テキスト (出版社)	プリント教材 よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	35%	30%	35%	100%		

1. 授業の概要

基本情報技術者科目A免除試験、情報検定情報活用試験、ITパスポート試験に合格するための学習を行う。
随時、目標の設定を行い、達成度合いの確認も行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者科目A免除試験、情報検定情報活用試験、ITパスポート試験に合格する。

3. 注意点・要望

授業で身につけた知識を活用して自学自習に励み、分からない知識について調べる癖をつけること。
設定した目標が達成できるようにスケジュール管理を徹底し、自分を律するように意識すること。

4. 関連科目

ハードウェア・ソフトウェア、ネットワークとセキュリティ、データベース、システム設計、ストラテジとマネジメント、
アルゴリズムとデータ構造 I

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者 科目A免除試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(1)
2	基本情報技術者 科目A免除試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(2)
3	基本情報技術者 科目A免除試験対策(3)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(3)
4	基本情報技術者 科目A免除試験対策(4)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(4)
5	情報活用試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(5)
6	情報活用試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(6)
7	情報活用試験対策(3)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(7)
8	情報活用試験対策(4)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(8)
9	情報活用試験対策(5)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(9)
10	ITパスポート試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(10)
11	ITパスポート試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(11)
12	ITパスポート試験対策(3)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(12)
13	ITパスポート試験対策(4)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(13)
14	ITパスポート試験対策(5)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(14)
15	後期試験期間	-

備考

-

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	検定対策Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	1組:秋山 純一、2組:所 兼太郎		
テキスト (出版社)	2023年版 ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター) Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト& 問題集 (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	40%	20%	40%	100%		

1. 授業の概要
ビジネス能力検定ジョブパス3級、Microsoft Office Specialist(MOS) Excelに合格するための過去問題演習を行う。 随時、目標の設定を行い、達成度合いの確認も行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
ビジネス能力検定ジョブパス3級(職業教育・キャリア教育財団)、Microsoft Office Specialist Excelの合格。
3. 注意点・要望
授業で身につけた知識を活用して自学自習に励み、分からない知識について調べる癖をつけること。 設定した目標が達成できるようにスケジュール管理を徹底し、自分を律するように意識すること。
4. 関連科目
Office演習Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務

週	テーマ	内容
1	ジョブパス3級試験対策(1)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(1)
2	ジョブパス3級試験対策(2)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(2)
3	ジョブパス3級試験対策(3)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(3)
4	ジョブパス3級試験対策(4)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(4)
5	ジョブパス3級試験対策(5)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(5)
6	ジョブパス3級試験対策(6)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(6)
7	ジョブパス3級試験対策(7)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(7)
8	ジョブパス3級試験対策(8)	ビジネス能力検定ジョブパス3級の過去問演習(8)
9	Microsoft Office Specialist対策(1)	Microsoft Office Specialistの講義内容の復習及び模擬試験(1)
10	Microsoft Office Specialist対策(2)	Microsoft Office Specialistの講義内容の復習及び模擬試験(2)
11	Microsoft Office Specialist対策(3)	Microsoft Office Specialistの講義内容の復習及び模擬試験(3)
12	Microsoft Office Specialist対策(4)	Microsoft Office Specialistの講義内容の復習及び模擬試験(4)
13	Microsoft Office Specialist対策(5)	Microsoft Office Specialistの講義内容の復習及び模擬試験(5)
14	Microsoft Office Specialist対策(6)	Microsoft Office Specialistの講義内容の復習及び模擬試験(6)
15	Microsoft Office Specialist対策(7)	Microsoft Office Specialistの講義内容の復習及び模擬試験(7)
16	後期試験期間	-

備考	-
----	---

科目	夏季資格試験対策	分類	専門、任選科目
担当	1組:秋山 純一、2組:所 兼太郎		
テキスト (出版社)	目標資格に応じたテキストを使用		
参考資料	目標資格に応じた参考資料を使用		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	30%	30%	40%	100%		

1. 授業の概要

目標に設定された資格試験に合格するための学習を行う。
随時、目標の設定を行い、達成度合いの確認も行う。

2. 授業の目標(検定取得など)

個別の目標設定によって、以下のいずれかの資格取得を目指す。
情報検定 情報活用試験1級・2級・3級、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験

3. 注意点・要望

授業で身につけた知識を活用して自学自習に励み、分からない知識について調べる癖をつけること。
設定した目標が達成できるようにスケジュール管理を徹底し、自分を律するように意識すること。

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策、冬季資格試験対策

週	テーマ	内容
1	目標設定	目標設定
2	資格試験に向けた学習の実践(1)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(1)
3	資格試験に向けた学習の実践(2)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(2)
4	資格試験に向けた学習の実践(3)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(3)
5	資格試験に向けた学習の実践(4)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(4)
6	資格試験に向けた学習の実践(5)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(5)
7	資格試験に向けた学習の実践(6)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(6)
8	資格試験に向けた学習の実践(7)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(7)
9	資格試験に向けた学習の実践(8)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(8)
10	資格試験に向けた学習の実践(9)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(9)
11	資格試験に向けた学習の実践(10)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(10)
12	資格試験に向けた学習の実践(11)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(11)
13	資格試験に向けた学習の実践(12)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(12)
14	資格試験に向けた学習の実践(13)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(13)
15	資格試験に向けた学習の実践(14)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(14)
16	資格試験に向けた学習の実践(15)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(15)

備考

-

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	冬季資格試験対策	分類	専門、任選科目
担当	1組:秋山 純一、2組:所 兼太郎		
テキスト (出版社)	目標資格に応じたテキストを使用		
参考資料	目標資格に応じた参考資料を使用		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	30%	30%	40%	100%		

1. 授業の概要
目標に設定された資格試験に合格するための学習を行う。 随時、目標の設定を行い、達成度合いの確認も行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
個別の目標設定によって、以下のいずれかの資格取得を目指す。 情報検定 情報活用試験1級、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、Microsoft Office Specialist
3. 注意点・要望
設定した目標が達成できるようにスケジュール管理を徹底し、自分を律するように意識すること。 春季資格試験対策は1年後期に実施されるが、シラバスの記載と単位認定は2年前期である。
4. 関連科目
検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策、冬季資格試験対策

週	テーマ	内容
1	目標設定	目標設定
2	資格試験に向けた学習の実践(1)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(1)
3	資格試験に向けた学習の実践(2)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(2)
4	資格試験に向けた学習の実践(3)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(3)
5	資格試験に向けた学習の実践(4)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(4)
6	資格試験に向けた学習の実践(5)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(5)
7	資格試験に向けた学習の実践(6)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(6)
8	資格試験に向けた学習の実践(7)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(7)
9	資格試験に向けた学習の実践(8)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(8)
10	資格試験に向けた学習の実践(9)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(9)
11	資格試験に向けた学習の実践(10)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(10)
12	資格試験に向けた学習の実践(11)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(11)
13	資格試験に向けた学習の実践(12)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(12)
14	資格試験に向けた学習の実践(13)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(13)
15	資格試験に向けた学習の実践(14)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(14)
16	資格試験に向けた学習の実践(15)	過去問題演習、講義内容の復習、知識・技術の調査、個別指導(15)

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	国家試験対策	分類	専門、必修科目
担当	1組:秋山 純一、2組:所 兼太郎		
テキスト (出版社)	プリント教材 よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材、高度午前I・応用情報 午前試験対策書(ITEC)、応用情報技術者 午後問題の重点対策(itec)		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	10
	0%	0%	0%	40%	20%	40%	100%		

1. 授業の概要
各検定試験に合格するための学習を行う。 随時、目標の設定を行い、達成度合いの確認も行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者(国家試験)、応用情報技術者(国家試験)、情報セキュリティマネジメント(国家試験)、日本漢字能力検定3級の合格。
3. 注意点・要望
授業で身につけた知識を活用して自学自習に励み、分からない知識に付いて調べる癖をつけること。 設定した目標が達成できるようにスケジュール管理を徹底し、自分を律するように意識すること。
4. 関連科目
情報セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造Ⅱ、検定対策Ⅱ

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(1)
2	基本情報技術者試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(2)
3	基本情報技術者試験対策(3)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(3)
4	基本情報技術者試験対策(4)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(4)
5	基本情報技術者試験対策(5)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(5)
6	基本情報技術者試験対策(6)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(6)
7	漢字検定対策(1)	過去問演習(1)
8	漢字検定対策(2)	過去問演習(2)
9	情報セキュリティマネジメント試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(1)
10	情報セキュリティマネジメント試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、過去問演習(2)
11	応用午前試験対策講義(1)	基本情報技術者午前試験の知識を復習すると共に、応用情報技術者午前試験に必要な知識を積み上げて学習を行う。(1)
12	応用午前試験対策講義(2)	基本情報技術者午前試験の知識を復習すると共に、応用情報技術者午前試験に必要な知識を積み上げて学習を行う。(2)
13	応用午前試験対策講義(3)	基本情報技術者午前試験の知識を復習すると共に、応用情報技術者午前試験に必要な知識を積み上げて学習を行う。(3)
14	応用午前試験対策講義(4)	基本情報技術者午前試験の知識を復習すると共に、応用情報技術者午前試験に必要な知識を積み上げて学習を行う。(4)
15	応用午前試験対策講義(5)	基本情報技術者午前試験の知識を復習すると共に、応用情報技術者午前試験に必要な知識を積み上げて学習を行う。(5)
16	後期試験期間期間	-

備考	-
----	---

科目	やってみなはれ演習 I	分類	教養、必修科目
担当	1組:秋山 純一、2組:所 兼太郎		
テキスト (出版社)	プリント教材		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

様々な事を題材に、社会人としてのヒューマンスキル向上を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

3年間で共にするクラスの仲間を知り、結束を高める。

3. 注意点・要望

真剣に楽しむことを考慮し、精一杯対応する。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	各種スケジュールの共有	スケジュール共有
2	目標とアクションの明確化(1)	自分自身の前期目標を定め、ドキュメント化する(1)
3	交流(1)	クラスでの結束を高める(1)
4	交流(2)	クラスでの結束を高める(2)
5	交流(3)	クラスでの結束を高める(3)
6	目標とアクションの明確化(2)	自分自身の前期目標を定め、ドキュメント化する(2)
7	交流(4)	クラスでの結束を高める(4)
8	交流(5)	クラスでの結束を高める(5)
9	交流(6)	クラスでの結束を高める(6)
10	目標とアクションの明確化(3)	自分自身の前期目標を定め、ドキュメント化する(3)
11	能力の実践(1)	各セッションに分かれて行動(1)
12	能力の実践(2)	各セッションに分かれて行動(2)
13	能力の実践(3)	各セッションに分かれて行動(3)
14	能力の実践(4)	各セッションに分かれて行動(4)
15	前期振り返り	前期振り返りと夏休みの計画について

備考

-

科目	やってみなはれ演習Ⅱ	分類	教養、必修科目
担当	1組:秋山 純一、2組:所 兼太郎		
テキスト (出版社)	プリント教材		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

様々な事を題材に、社会人としてのヒューマンスキル向上を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

3年間で共にするクラスの仲間を知り、結束を高める。

3. 注意点・要望

真剣に楽しむことを考慮し、精一杯対応する。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	後期スケジュール確認
2	目標とアクションの明確化(4)	自分自身の後期目標を定め、ドキュメント化する(4)
3	交流(7)	クラスでの結束を高める(7)
4	交流(8)	クラスでの結束を高める(8)
5	交流(9)	クラスでの結束を高める(9)
6	目標とアクションの明確化(5)	自分自身の後期目標を定め、ドキュメント化する(5)
7	交流(10)	クラスでの結束を高める(10)
8	交流(11)	クラスでの結束を高める(11)
9	交流(12)	クラスでの結束を高める(12)
10	目標とアクションの明確化(6)	自分自身の後期目標を定め、ドキュメント化する(6)
11	能力の実践(13)	各セッションに分かれて行動(5)
12	能力の実践(14)	各セッションに分かれて行動(6)
13	能力の実践(15)	各セッションに分かれて行動(7)
14	基礎力評価(1)	ディスカッション形式で各セッションとの意見交換(1)
15	基礎力評価(2)	ディスカッション形式で各セッションとの意見交換(2)
16	後期振り返り	後期振り返りと春休みの計画について

備考

-